

『TTCが
鍼灸の未来を創造する』

3月中旬、TTC（トータルセラピストコミュニティ）が主催した鍼灸師向けセミナー『TTCが鍼灸の未来を創造する（I）〜サバイバルできる鍼灸師の育成』が開催された。TTC主催のセミナーとしては、初めての鍼灸向け実技セミナーとあって予告当初から注目を集めていた同セミナーに、多くの鍼灸師と鍼灸師を目指す学生が参加した。セミナーは二部構成でおこなわれ、一部では、一鍼入魂堂院長の富田秀徳氏が登壇し、『鍼灸治療を当たり前の世の中に！』をテーマに鍼灸業界を取り巻く現状と、同氏が理想とする将来像を熱く語った。同氏は言う。「2000年以降の規制緩和で鍼灸学校が増えたこともあり、毎年4000名以上の新人鍼灸師が輩出されている。一方で、鍼灸治療



PROFILE

富田秀徳（とみた ひでのり）先生

一鍼入魂堂 院長
はり師 きゅう師 鍼灸師教員資格昭和47年7月4日生まれ（39歳）「一鍼入魂堂」院長。「鍼灸を当たり前の世の中にする」をライフワークとしてマーケティング活動中
一鍼入魂堂ホームページ <http://www.1shin.jp/>

PROFILE

森田義之（もりた よしゆき）先生

森田鍼灸院 院長
臨床トリガーポイント研究会 代表トリガーポイント第一人者・黒岩共一氏に師事
関西鍼灸短期大学 卒業
関西鍼灸短期大学 研究員
元（社）東京都鍼灸師会 理事
元（社）日本鍼灸師会 副学術部長
元（社）全日本鍼灸師会 学術部委員
現在は複数の鍼灸専門学校教員を兼務
森田鍼灸院ホームページ <http://moritaacu.me/>臨床トリガーポイント研究会事務局
（よしむら鍼灸治療院内）
事務局長 吉村亮次
〒343-0823
埼玉県越谷市相模原 5-335-3
TEL048-984-7525
e-mail: mtp@heteml.jp

の受療率は2008年に発表された7パーセントから大きな変動はなく、低い水準で推移している。確実に需給のバランスが崩れてしまっている。「鍼灸院単独の治療院は、開業後3年以内にその80パーセントが閉業に追い込まれる」厳しい現状が伝えられた。

しかし、富田氏はこう述べたうえで、「この数字を決して悲観視していない。きっかけを作ることで7パーセントを10に、10を15パーセントにできる。」と言い切る。『伸びしろ』はたくさんある」そのために鍼灸師ひとりひとりが「当事者意識を持つことが大切だ」と強調した。

富田氏は鍼灸治療が一般的に普及しない要因の一つとして、品質・スキルのばらつきを指摘する。技術の未熟な鍼灸師が施術をおこなうことで鍼灸治療そのものに対するネガティブ思考が強くなり、結果的に鍼灸離れが起きてしまう。

こうした負の循環を避けるために同氏が提唱するのは、「スキル可視化」だ。臨床経験の浅い鍼灸師を一定の技術レベルまで引き上げる制度が必要だと訴える。

同氏はTTCとの検討を重ね、【短時間で愁訴の軽減が得

やすい】【理論的に分かりやすい】【マニュアル化しやすい】という観点から「トリガーポイント療法」による鍼灸施術スキルの見える化、可視化に乗り出した。

セミナー第二部ではその「トリガーポイント療法」の第一人者である黒岩共一氏に師事し、臨床トリガーポイント研究会代表を務める森田義之氏を迎え、トリガーポイント療法実践セミナーが行われた。会場内に所狭しと並べられた施術ベッドを中心に、参加者全員が数名ずつのグループに分かれて実施された。冒頭には森田氏からトリガーポイント療法の解説がなされ、参加者は皆真剣なまなざしで聞き入った。治療技術に関してまったく素人の小生でも「なるほど」と思える、非常に簡潔でわかりやすい説明だった。少々緊張の面持ちで始まった実技セミナーだったが、休憩を挟みじっくり3時間以上にわたって個別のレクチャーがなされた。



TTCの『鍼灸の未来を創造する』取り組みはまだ始まったばかり。今後の展開を楽しみにしたい。